

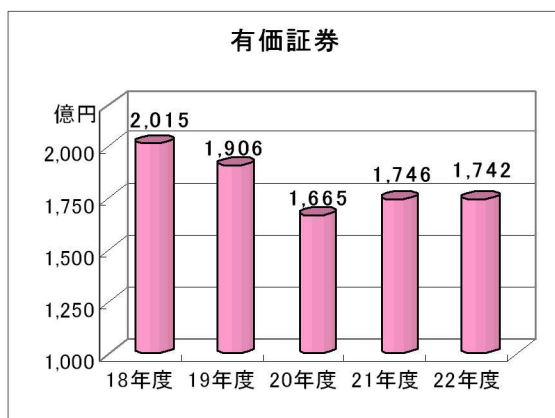
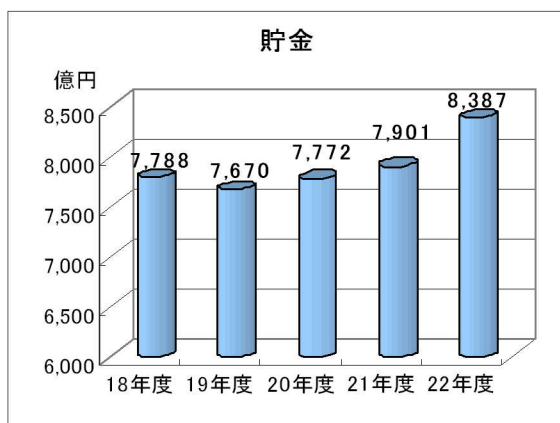
## 5. 事業の概況

### 【貯 金】

J A貯金の増加や県預託金等の公金貯金の伸長で、期末残高は8,387億円となりました。

### 【有価証券】

資金効率の観点から、一部を預金へシフトするなど、機動的・効率的運用を行い、期末残高は1,742億円となりました。

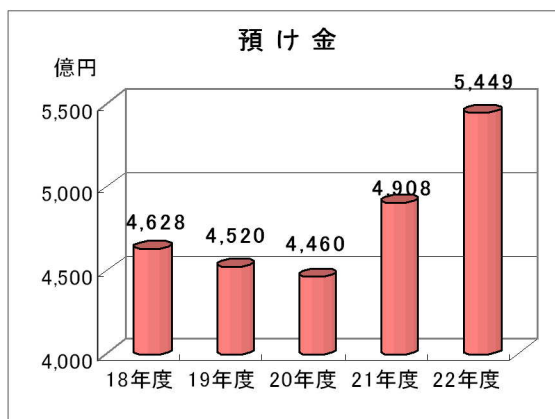
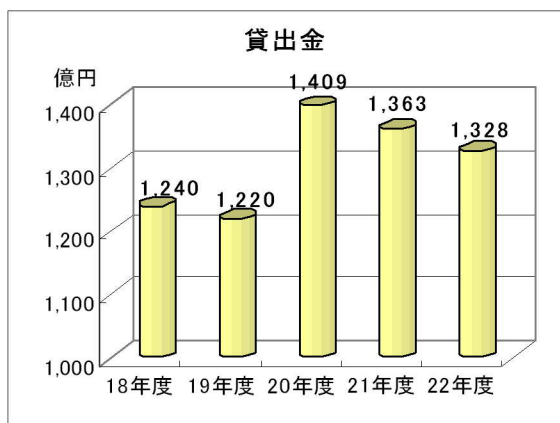


### 【貸出金】

農業関連産業や地場企業等に対し、新規取引先の開拓や既存取引先との取引深耕に努めました  
が、会員における当座資金需要が減少したことから、期末残高は1,328億円となりました。

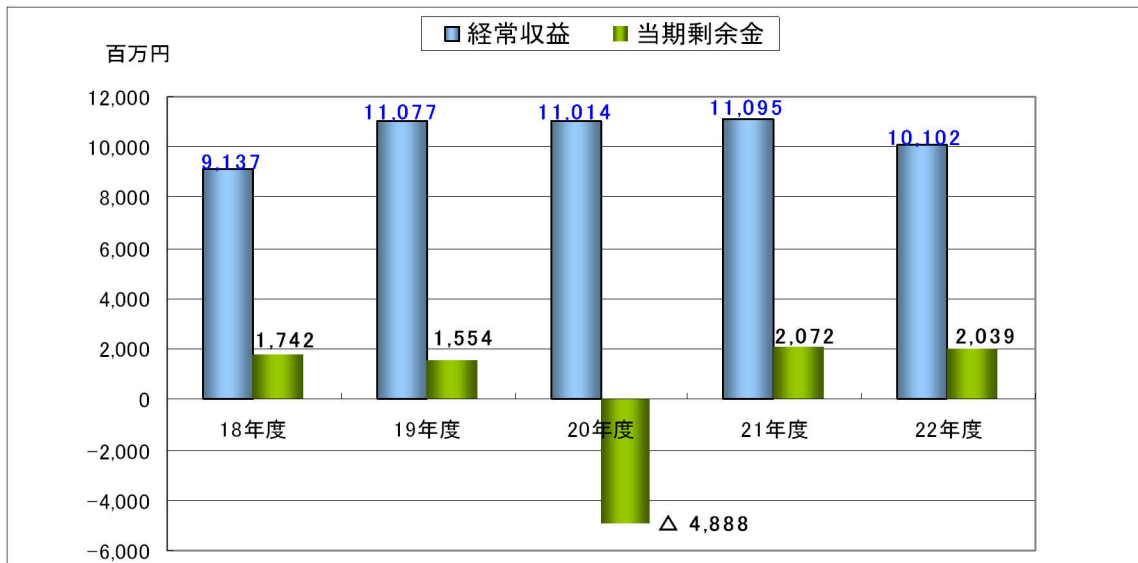
### 【預け金】

貯金の増加や有価証券・貸出金からの資金シフトを受けて、農林中金等への預け金を中心に運  
用を行い、期末残高は5,449億円となりました。



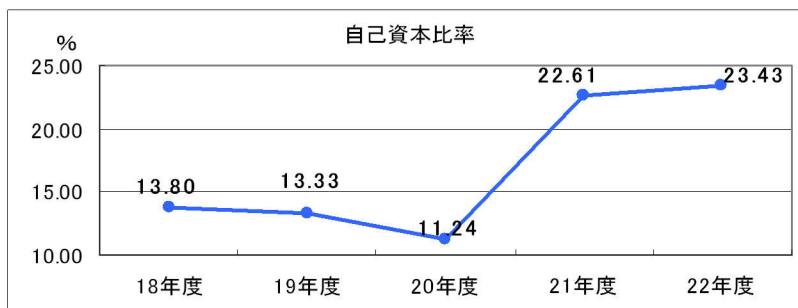
## 【 損益状況 】

経常収益は101億2百万円、経常利益は17億83百万円、当期剰余金は20億39百万円となりました。



## 【 自己資本比率 】

自己資本比率は、剰余金の内部留保等により、23.43%となりました。



(平成18年度からは、新BIS基準によるものです。)

## 【 リスク管理債権残高・リスク管理債権比率 】

リスク管理債権残高は40億52百万円、リスク管理債権比率は3.05%となりました。

